

**公益社団法人 地盤工学会
四国支部**

平成 27 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 27 年 4 月 17 日（金）

会場：高松テルサ 会議室

（高松市屋島西町 2366-1）

目 次

特別会員表彰

地盤工学貢献賞

平成 26 年度 四国支部賞 受賞業績（者）

第 1 号議案 平成 26 年度 支部事業報告（案） 1

第 2 号議案 平成 26 年度 支部収支決算報告（案） 15

第 3 号議案 平成 27 年度 支部役員（案） 19

第 4 号議案 平成 27 年度 支部事業計画（報告） 23

第 5 号議案 平成 27 年度 支部収支予算（報告） 27

〔参考資料〕 平成 27 年度以降の事業予定等 29

四国支部規定 30

特別会員表彰（1 件）

愛媛大学工学部環境建設工学科地盤防災工学講座

4 級（10 年以上）

以上

平成 26 年度地盤工学貢献賞（1 名）

氏名	勤務先・役職	受賞分野	支部
右城 猛	第一コンサルタンツ 代表取締役社長	①技術者育成 ②資料・データの収集とその公開 ③技術支援 ④社会的イメージの向上	四国

以上

平成 26 年度 四国支部賞 受賞業績（者）

1. 技術賞（応募件数 0 件）

2. 技術開発賞（応募件数 1 件、受賞件数 1 件）

受賞業績名	会員	受賞者
スウェーデン式サウンディング試験機を用いたサンプラー“SSJ”の開発	正 正	木戸 崇之 山内 聖児 (ハイスピードコーポレーション)

3. 研究・論文賞（応募件数 3 件、受賞件数 1 件）

受賞業績名	会員	受賞者
強アルカリ溶液が花崗岩不連続面の透水特性に及ぼす影響	学 正 正	前田 健太（愛媛大学） 安原 英明（ ” ） 木下 尚紀（ ” ）

4. 功績賞（応募件数 0 件）

以上

第1号議案 平成26年度 支部事業報告(案)

平成 26 年度 支部事業報告（案）

1. 総会，役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 26 年 4 月 25 日（金）16:00～17:00 高松テルサ（高松市）

- ① 平成 25 年度 特別表彰
- ② 平成 25 年度 支部事業報告
- ③ 平成 25 年度 支部収支決算報告，監査報告
- ④ 平成 25 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 25 年度 支部事業計画（案）
- ⑥ 平成 26 年度 支部収支予算（案）

(2) 評議員会

第 1 回 平成 26 年 4 月 25 日（金）14:30～15:40 高松テルサ（高松市）

- ① 平成 26 年度 支部役員（案）
- ② 平成 25 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 25 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 25 年度 功労賞
- ⑤ 平成 25 年度 特別会員表彰，永年正会員感謝状
- ⑥ 平成 26 年度 支部事業計画
- ⑦ 平成 26 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 27 年 2 月 25 日（火）～3 月 3 日（火）メール審議

- ① 平成 26 年度 支部事業報告
- ② 平成 26 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 27 年度 支部役員案
- ④ 平成 27 年度 支部事業計画案
- ⑤ 平成 27 年度 支部予算案
- ⑥ その他（平成 26 年度支部賞候補募集会告、四国支部落石講習会）

(3) 幹事会

第1回 平成26年6月19日(木) 13:30～15:00 高松市(サンポートホール高松)

- ① 平成26年度 四国支部役員
- ② 地盤工学会第56回通常総会
- ③ 平成26年度 第1回理事会議事録
- ④ 平成26年度 支部交付金(前期)の受入れ
- ⑤ 平成26年度 四国支部事業計画
- ⑥ 高知大学の事務局復帰時期について
- ⑦ 建設フェア・学生アルバイトについて
- ⑧ 若手会員参加の誘導策
- ⑨ 平成26年度 地盤工学会四国支部技術研究発表会 論文募集
- ⑩ 第35回 高知県地盤工学会(講演会)開催案内
- ⑪ 平成26年度 香川県地盤工学会 学術講演会
- ⑫ 愛媛県地盤工学会学術講演会
- ⑬ ネパール国際シンポジウム
- ⑭ 後援: 第5回次世代地盤改良技術に関するワークショップ

第2回 平成26年12月17日(水)～平成26年12月24日(水) メール審議

- ① 全国大会に向けての昼食会
- ② 本部理事会
- ③ 本部支部連絡会議
- ④ 平成26年度支部事業報告および事業計画
- ⑤ その他

第3回 平成27年2月17日(火) 13:30～15:00 高松市(サンポートホール高松)

- ① 本部理事会報告(第9回)
- ② 平成26年度 支部事業報告
- ③ 平成26年度 決算見込み報告
- ④ 平成27年度 支部役員案
- ⑤ 平成27年度 支部事業計画案
- ⑥ 平成27年度 支部予算案
- ⑦ 平成26年度 支部賞候補募集会告
- ⑧ 四国支部落石講習会

2. 支部主催事業

(1)「地下水調査の方法と解説－実務上の留意点と新たな基準制定に向けて－」

講習会：担当：四国電力

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 後 援：公益社団法人土木学会四国支部，
一般社団法人日本応用地質学会中国四国支部
- 日 時：平成 26 年 10 月 27 日（月）13：30～17：00
- 場 所：サンポートホール高松 54 会議室（香川県高松市サンポート 2-1）
- 内容・講師：
 - ・主な基準の改正と解説の改訂点の説明、新たな基準制定と技術発展への展望
小松 満（岡山大学廃棄物マネジメント研究センター）
 - ・実務上の留意点
進士喜英（日本原燃（株）埋設事業部開発設計部）
- 参加者：68 名

(2) 最新の落石対策工に関する現場見学・学術講演会

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 26 年 10 月 28 日（火）
- I 部 現場見学 9：10～15：00
 - ①高エネルギー吸収型落石防護柵 イーフェンス他見学（いの町勝賀瀬 国道 194）
 - ②高エネルギー吸収型落石防護柵 MJ ネット他見学（南国市稲生 高知南国道路）
 - ③高エネルギー吸収型落石防護柵 三角フェンス他見学（大豊町板木野 国道 32 号）
 - ④ロックシェッド，片持ちキーパー，ロックネット他・各種落石対策見学
（須崎市安和 県道久礼須崎線）
- II 部 講演会 15：30～17：30
 - 会場 かんぼの宿 伊野 会議室
 - 演題 日本における落石対策工の現状と課題
 - 講師 右城猛 （株）第一コンサルタンツ
 - 参加者：23 名 中国側 14 名

(3) 平成 26 年度技術研究発表会 担当：徳島大学

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 26 年 11 月 13 日（木）～14 日（金）
- 会 場：徳島県神山温泉 徳島県名西郡神山町神領上角 80-2 電話 088-676-1276
- 優秀発表者名
 - セッションⅠ 香川大学大学院 西脇 大祐
 - セッションⅡ 愛媛大学大学院 柏木 亮太
 - セッションⅢ 高知大学大学院 谷 美宏
 - セッションⅣ 高知大学大学院 坂部 晃子
 - セッションⅤ 愛媛大学大学院 ABDUL RACHMAN RASYD
（株）第一コンサルタンツ 西森 哲也
 - セッションⅥ 愛媛大学工学部 坪田 沙希

○プログラム：平成 26 年 11 月 13 日（木）

11：20～12：00 セッションⅠ 調査 （座長：安藝浩資）

1. 常時微動 H/V スペクトルと観測地点の地盤周期との比較

- 北村暢章 (㈱第一コンサルタンツ)、嶋本栄治、原 忠 (高知大学総合研究センター)
2. 常時微動観測に基づく海岸平野の地盤の堆積構造の推定
原 忠 (高知大学) ○石川諒、山田雅行 (㈱ニュージェック)、竹澤請一郎、伊藤佳洋、羽田浩二
3. 高知城石垣部の常時微動特性について
○西脇大祐 (香川大学大学院)、山中 稔 (香川大学工学部)、小泉勝彦、長谷川修一
4. 中間土の圧密沈下解析と評価
○山田 透 (㈱荒谷建設コンサルタント)、三國宣仁 (四国地方整備局大洲河川国道事務所)、望月秋利 (徳島大学名誉教授)
5. 災害復旧調査への動的コーン貫入試験の適用事例 ○市橋義治 (㈱相愛)

13:10~14:10 セッションⅡ 地盤材料 (座長：石原行博)

6. 粒度分布の異なる河床砂礫の液状化特性と液状化後の変形性
原 忠 (高知大学)、○品川大地、山崎直哉
7. 防波堤マウンド材のせん断特性に関する基礎的実験
原 忠 (高知大学)、○山崎直哉、ハザリカ・ヘマンタ (九州大学)、門司直也
8. 強アルカリ溶液が花崗岩不連続面の透水特性に及ぼす影響
○前田健太 (愛媛大学大学院)、安原英明 (愛媛大学理工学研究科)、木下尚樹
9. CS 鉱物トラップによる砂岩の力学・透水特性変化
○柏木亮太 (愛媛大学大学院)、安原英明 (愛媛大学理工学研究科)、木下尚樹
10. PS 灰造粒材料の耐久性と今後の PS 灰の利用方法について
○足立望美 (愛媛大学大学院)、安原英明 (愛媛大学理工学研究科)、木下尚樹
11. 再生石膏固化材によるため池底泥の固化改良
○小竹 望 (香川高等専門学校)、角野 充、川野浩二 (鎌長製衛㈱)、松下和史

14:20~15:40 セッションⅢ 地盤防災① (地震) (座長：大藪剛士)

12. 河川堤防の自重を考慮した基礎地盤の変形が堤防内部に与える影響に関する三相連成解析
○居上靖弘 (徳島大学大学院)、渦岡良介 (徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)、上野勝利
13. Liquefaction Evaluation Method in River Levees Considering the Drainage Effect
○Fred Nelson (Ehime University)、岡村未対 (愛媛大学理工学研究科)
14. 2011 年東北地方太平洋沖地震による那珂川堤防の液状化沈下解析
○陣内尚子 (愛媛大学工学部)、岡村未対 (愛媛大学理工学研究科)
15. 液状化流動解析によるため池堤体の変形挙動の特徴について
○実井琢哉 (香川大学大学院)、山中 稔 (香川大学工学部)、小泉勝彦、長谷川修一
16. ボーリング柱状図および N 値を用いた液状化強度曲線の推定方法に関する考察
○尾川七瀬 (㈱技研製作所)、中島 昇 (㈱地研)、常川善弘 (㈱相愛)、原 忠 (高知大学)
17. 繰り返し非排水三軸試験結果を用いた要素シミュレーションに関する一考察
○中島 昇 (㈱地研)、嶋本栄治 (㈱第一コンサルタンツ)、中根久幸 (㈱地研)、北村暢章 (㈱第一コンサルタンツ)、原 忠 (高知大学)、岡林宏二郎 (高知工業高等専門学校)
18. 二重鋼矢板堤防の耐震・耐津波性能評価
原 忠 (高知大学)、○谷 美宏、古市秀雄 (㈱技研製作所)、西 剛整 (㈱CPC)、乙志和孝 (新日鐵住金 (㈱))
19. 水位上昇により転倒した防潮堤の対策工に対する遠心模型実験
○大住俊揮 (徳島大学大学院)、福田典紀 (徳島大学大学院)、上野勝利 (徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)、渦岡良介、鈴木壽

20. Numerical simulation of injection of air and chemical grout using multiphase flow simulator

○Umesh K.C. (Ehime University)、岡村未対 (愛媛大学理工学研究科)

21. 高速道路盛土基礎地盤への空気注入不飽和化工法の適用性検討 その1 (地盤調査、予備実験計画)

○内田純二 (西日本高速道路㈱)、紙田直充、高畑 陽 (大成建設㈱)、山根信幸 (東亜建設工業㈱)、深田 久 (㈱不動テトラ)、大内正敏 (オリエンタル白石㈱)、橋本欣也 (ニュージェック㈱)、岡村未対 (愛媛大学理工学研究科)

22. 高速道路盛土基礎地盤への空気注入不飽和化工法の適用性検討 その2 (ダブルパッカー式注入管、打ち込み式注入管による注入実験)

○藤井 直 (オリエンタル白石㈱)、藤原斉郁 (大成建設㈱)、居場博之 (東亜建設工業㈱)、矢部浩史 (㈱不動テトラ)、中園康平 (㈱ニュージェック)、岡村未対 (愛媛大学理工学研究科)

23. 丸太打設による海岸埋立地の地盤改良効果の検証 その1 調査地点の概要

原 忠 (高知大学)、○岡田 望、三村佳織、坂部晃子 (高知大学)、沼田淳紀 (飛島建設㈱)、三輪 滋 (飛島建設㈱)

24. 丸太打設による海岸埋立地の地盤改良効果の検証 その2 サウンディング試験結果

原 忠 (高知大学)、○三村佳織、坂部晃子、岡田 望、沼田淳紀 (飛島建設㈱)、三輪 滋

25. 丸太打設による海岸埋立地の地盤改良効果の検証 その3 三軸試験結果

原 忠 (高知大学)、○坂部晃子、三村佳織、岡田 望、沼田淳紀 (飛島建設㈱)、三輪 滋

○プログラム：平成26年11月14日 (金)

26. 地すべり粘土の残留状態におけるクリープせん断変位・破壊特性

○小阪 岳 (愛媛大学大学院)、ネトラ P. バンダリ (愛媛大学理工学研究科)、Bhat Deepak Raj

27. 室内実験による地すべりのクリープ崩壊発生時期予測モデルの検証

○酒井啓太 (愛媛大学工学部)、ネトラ P. バンダリ (愛媛大学理工学研究科)、Bhat Deepak Raj

28. リングせん断試験を用いた通電による地すべり対策法の検討

○片山直道 (愛媛大学工学部)、ネトラ P. バンダリ (愛媛大学理工学研究科)

29. 陽イオンの吸着・交換にともなう混合性粘土鉱物のX線回折強度特性の検討

○藤田直丈 (愛媛大学工学部)、ネトラ P. バンダリ (愛媛大学理工学研究科)、中島淳子

30. Use of Frequency Ratio Approach in Landslide Susceptibility Mapping in Jeneberang Watershed of South Sulawesi, Indonesia

○Abdul Rachman Rasyid (Ehime University)、ネトラ P. バンダリ (愛媛大学理工学研究科)、矢田部龍一

31. 小型振動台を用いたニューマーク法の検証実験と考察

○奥山陽平 (徳島大学大学院)、蔣 景採

32. ビデオ解析による落石運動速度の予測法

楠本雅博 (㈱第一コンサルタンツ)、○西森哲也

33. グラウンドアンカーの再緊張後の緊張力変化事例について

○常川善弘 (㈱相愛)、市橋義治、弘田朋志、東 豊一

34. 受圧板を有する地山補強土工法ののり面工低減係数

○濱口竜一 (香川高等専門学校)、小竹 望 (香川高等専門学校)、土居正信、沓澤 武 (日本基礎技術㈱)

35. 広島豪雨災害による家屋被害と地形との関係分析
○野々村敦子（香川大学工学部）、原 忠（高知大学）
36. 広島市安佐南区の土石流堆積物の土質特性
○山中 稔（香川大学工学部）、廣田清治（愛媛大学防災情報研究センター）
37. 広島土石流災害の流出土砂量の推定と愛媛県における計画流出土砂量の比較
○須賀幸一（㈱芙蓉コンサルタント）
38. 最優先は土石流の特別警戒区域の指定である ○長谷川修一（香川大学工学部）
39. 南海地震を想定したため池の決壊危険度とリスク評価について
○坪田沙希（愛媛大学工学部）、ネトラ P. バンダリ（愛媛大学理工学研究科）、
高田知世（飛島建設㈱）
40. ため池決壊による氾濫解析の課題 ○谷 茂（農研機構）
41. 住民災害教育のための愛南町におけるハザードマップの統合ウェブデータベースの構築
○ネトラ P. バンダリ（愛媛大学理工学研究科）、森伸一郎、
須賀幸一（㈱芙蓉コンサルタント）
42. 愛媛大学における社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座の取り組み
○廣田清治（愛媛大学防災情報研究センター）、森脇 亮（愛媛大学理工学研究科）、
吉井稔雄、竹田正彦、矢田部龍一
- 発表者：42 名
○参加者：27 名

(4) 平成 26 年度見学会 担当：徳島大学

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
○日 時：平成 26 年 11 月 28 日（金） 10:00～18:00
○現場見学：徳島県那賀郡那賀町長安地先～大戸地先（長安ロダム施設改造工事現場）
○参加者：17 名

(5) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会（平成 26 年度活動報告）

(5-1) 第 12 回地盤地震防災研究委員会

- 日 時：2014 年 9 月 4 日（木） 15:00～17:00
○場 所：高知会館 3F 平安の間
○出席者：14 名
○議 題：
種々の地盤材料の繰返し三軸試験（高知大実施）の要素シミュレーション（高知）など

(5-2) 液状化解析のための材料パラメータの設定に関するサマースクール

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部・地盤地震防災研究委員会
○日 時：2014 年 10 月 25 日（土）、26 日（日）
○会 場：徳島大学工学部建設工学科 4 階中セミナー室
○参加費：会員 3,000 円、非会員 6,000 円
○講 師：徳島大学大学院 教授 渦岡良介
○参加者：11 名

(5-3) 第 13 回地盤地震防災研究委員会

- 日 時：2014 年 12 月 19 日（金）15:00～17:00
- 場 所：愛媛大学工学部講義棟 1 階 多目的ルーム EL12
- 出席者：16 名
- 議 題：
種々の地盤材料の繰返し三軸試験（高知大実施）の要素シミュレーション（高知，徳島，愛媛）など

3. 支部共催事業

(1) 平成 26 年度学術講演会：担当：土木学会四国支部

- 主 催：公益社団法人 土木学会四国支部 公益社団法人 地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 27 年 3 月 30 日（月）
- 場 所：サンポートホール高松 54 番会議室
- 内 容：来たるべき巨大地震と社会インフラへの影響およびその減災に向けた課題について
- 講 師：京都大学大学院工学研究科 教授 清野純史
- 出席者：74 名

4. 支部後援事業

(1) 第 5 回次世代地盤改良技術に関するワークショップ

(5th the New Ground Improvement Technique 2014：NGIT2014)

- 主 催：独立行政法人土木研究所・愛媛大学
- 後 援：公益社団法人地盤工学会四国支部
公益社団法人土木学会四国支部
公益社団法人日本材料学会四国支部
一般社団法人資源・素材学会関西支部
一般社団法人日本応用地質学会中四国支部
- 日 時：平成 26 年 8 月 29 日（金）13:00～17:00
- 場 所：愛媛大学
- 内 容：微生物を用いたコンクリート補修について（愛媛大学 助教 河合慶有）
- 参加者：40 名

5. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

1) 第1回特別講演会

- 日 時：平成 27 年 3 月 30 日（月） 16:00～17:30
- 場 所：徳島大学 工業会館 メモリアルホール
- 内 容：支持力と数学
- 講 師：金沢大学 准教授 小林俊一
- 参加者：社会人 20 名，学生 11 名，合計 31 名

その他：

1) 第1回徳島地区幹事会

- 日 時：平成 26 年 6 月 28 日（土）17:00～18:00
- 場 所：徳島大学工学部建設工学科 4F セミナー室（A408 号室）
- 議 題：四国支部幹事会の報告
 - ・支部技術研究発表会について
 - ・見学会について
 - ・座長案について
 - ・徳島県地盤工学会の役割分担ほか
- 参加者：7 名

(2) 香川県地盤工学会

I. 主催事業

1) 第1回学術講演会「空間情報処理の最新の話題」

- 日 程：平成 26 年 6 月 26 日（木） 13:00～16:40
- 場 所：香川県立ミュージアム 研修室
- 会 費：1,000 円（資料代を含む）
- 内 容：①地理空間情報の防災分野への活用 香川大学工学部 野々村敦子
②新しい公共空間の創出について (株)五星 神原孝行
③社会資本の維持管理をささえる新技術（サーベイ・イノベーション）
(株)アスコ 西村芳夫
④技術者のキャリアアップについて (株)テイコク 早川和夫
- 参加者数：37 名

2) 第3回ため池堤体土の土質物性に関する勉強会

- 日 時：平成 26 年 6 月 13 日（金） 13:30～17:00
- 場 所：(株)増田地質工業 土質試験室（高松市円座町 1401）
- 会 費：無料
- 内 容：三軸圧縮試験の方法やデータの解釈について
- 講 師：(株)増田地質工業 中越寛行，香川大学工学部 山中 稔
- 対 象：香川県土地改良課，地質調査業
- 参加者数：13 名

3) ミニ技術セミナー「新しい宅地地盤の調査法」

○日 時：平成 26 年 7 月 18 日（金）10:30～12:00

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○会 費：無料

○内 容：①（講義）現場で地盤の強さや地下水環境を調べる意義
ランデックス工業(株) 中山貴行, 香川高専 向谷光彦
②（講義）サンプリングができるスウェーデン式サウンディング試験法（SWS）
ハイスピードコーポレーション（株） 山内聖児
③（現場実習）高性能な原位置試験の実務と解釈
ハイスピードコーポレーション（株） 山内聖児, 岡本直希
ランデックス工業(株) 中山 貴行

○サポート：香川高専 たかまつ土木女子の会

○参加者数：15 名

4) 第 2 回学術講演会「大規模盛土造成地の安全性」

○日 程：平成 26 年 12 月 4 日（木）13:30～16:45

○場 所：香川県立ミュージアム 研修室

○会 費：1,500 円（資料代を含む）

○内 容：①地震時における大規模宅地造成盛土斜面の地すべり
京都大学防災研究所 釜井俊孝
②維持管理時代の既存斜面の安定性評価のための調査・解析手法
（有）太田ジオリサーチ 太田英将

○参加者数：34 名

II. 共催事業

1) 香川高専ミニ技術セミナー「室内三軸試験・基本操作と適用」

○主 催：香川高等専門学校

○共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会
（公社）土木学会四国支部香川地区活動

○日 時：平成 26 年 10 月 10 日（金）9:30～11:30

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：①三軸試験で土の強度定数 c , ϕ を調べる意義
香川高等専門学校 向谷光彦
②三軸試験機の基本構造と操作法
（一財）地域地盤環境研究所 赤井俊文
③三軸試験機の高機能化への挑戦
（一財）地域地盤環境研究所 本郷隆夫

○サポート：香川高専 たかまつ土木女子の会

○参加者数：8 名

2) 実践的な原位置透水試験法（基本コース）

○主 催：香川高等専門学校,（公財）かがわ産業支援財団

○共 催：（公社）地盤工学会四国支部香川県地盤工学会
（公社）土木学会四国支部香川地区活動

○日 時：平成 26 年 10 月 17 日（金）9:30～16:30

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：①室内モデル地盤における浸透現象の把握
②屋外における原位置透水試験の実施
③地盤工学会方式マリ奥特サイフォンの基本原理, 操作

④表計算ソフトを用いたデータ解釈, 演習

- 講 師：(株) 四電技術コンサルタント 古川修三, 久保慶徳
香川高等専門学校 向谷光彦
○参加者数：15 名

3) 現場で使える原位置透水試験法 (応用コース)

- 主 催：香川高等専門学校, (公財) かがわ産業支援財団
○共 催：(公社) 地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会
(公社) 土木学会四国支部香川地区活動
○日 時：平成 27 年 1 月 23 日 (金) 13:00~16:30
○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内
○内 容：
①マリオットサイフォンを利用した原位置透水試験の原理と概要
②屋外における原位置透水試験の適用
③サンプリングと水位測定ができる新しいスウェーデン式サウンディング試験法
④表計算ソフトを用いたデータ解釈, 演習
○講 師：(株) 四電技術コンサルタント 能野一美, 久保慶徳
ハイスピードコーポレーション (株) 木戸崇之, 村上達哉
香川高等専門学校 向谷光彦
○参加者数：16 名

4) 平成 26 年度第 1 回技術交流会

- 主 催：香川高等専門学校建設環境工学科
○共 催：(公社) 地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会
(公社) 土木学会四国支部香川地区行事
○日 時：平成 27 年 2 月 4 日 (水) 16:25~17:30
○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス 専攻科棟
○内 容：①地山補強土工における受圧版の効果に関する研究 角野 充
②抵抗板を有する空積みブロックの動的特性に関する研究 小林 由佳
③土構造物の部分耐震補強法に関する基礎的研究 山内 彩加
○参加者数：16 名

5) 平成 26 年度第 2 回技術交流会

- 主 催：香川高等専門学校建設環境工学科
○共 催：(公社) 地盤工学会 四国支部香川県地盤工学研究会
(公社) 土木学会 四国支部香川地区行事
○日 時：平成 27 年 2 月 19 日 (木) 12:55~14:10
○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス 専攻科棟
○内 容：①観光客の過剰な流入による地域住民の外出控えに関する一考察 柿原祐介
②省エネルギー型の簡易的都市下水処理システムの開発 瀬戸雄大
③受圧板を用いた地山補強土工法の耐震性に関する基礎的研究 濱口竜一
○参加者数：26 名

6) バスツアー「エコロジーやらジオロジーを学んでみまい」

- 日 時：平成 27 年 2 月 28 日 (土) 8:30~16:30
○主 催：香川高等専門学校 ACO (エコ) サークル
○後 援：三豊市, たかまつ土木女子の会, 詫間キャンパス女子の会,
(公社) 土木学会四国支部香川地区行事,
(公社) 地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会
○内 容：①多度津町内ため池・水路浄化システムの見学, 清掃活動

②讃岐ジオサイト巡検：三豊市荘内半島のジオサイト

③浦島太郎伝承地探訪

○参加者：30名

(3) 高知県地盤工学会

1) 第35回(平成26年度) 高知県地盤工学会 講演会

○日時：平成26年6月20日(金) 14:00～16:45

○会場：高知ちばさんセンター 2F 研修室1 高知市布師田 3992-2 TEL088-846-0311

○参加費：2,000円(テキスト代)

○内容：プログラム(CPD単位 2.5)：14:00～16:45

「土構造物の耐震診断・健全度診断に関わるいくつかの話題

— 港湾や空港などでの計測の試みから —」

広島大学大学院工学研究院 社会環境空間部門 准教授 一井康二

「空港施設の耐震設計—高知空港地下施設耐震化対策等—について」

「港湾施設の耐津波設計—須崎港湾口地区防波堤の粘り強い化等—について」

国土交通省 高松港湾空港技術調査事務所 前任建設管理官 富本 正

○参加者：70名

2) 第36回(平成26年度) 高知県地盤工学会 現地見学会

○日時：平成27年1月8日(木) 13:30～

○場所：高知港三里地区 国際物流ターミナル及び高知港内

○内容：高知港周辺における地震津波防護対策施設の見学

○参加費：無料

○参加者：30名

(4) 愛媛県地盤工学会

I. 主催行事

1) 愛媛県地盤工学会第一回学術講演会

○日時：平成26年8月1日(金)

○場所：愛媛大学校友会館2階 サロン

○内容：土木技術に魅せられて～若手技術者に伝えたいこと～

(株) 第一コンサルタンツ社長 右城 猛

○参加者：43名

2) 台湾高雄第一科技大学とのセミナーおよび集集地震災害地見学ツアー

○9月19日(金) 高雄第一科技大学とセミナー

Taiwan-Japan- USA Joint workshop on geotechnical engineering

○9月20日から21日 集集地震災害地見学

○参加者：20名

Ⅱ．共催行事

1) 「第1回 岩石力学・岩盤工学に関する若手研究者会議」

- 主 催：岩の力学連合会
- 共 催：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会
- 日 時：平成26年7月26（土）、27日（日）
- 場 所：愛媛大学工学部講義棟
- 参加者：35名

2. 建設業界の現状と動向に関する講演会

- 主催：愛媛大学土木海洋会・愛媛県地盤工学研究会
- 日 時：平成26年12月6日（土）16：00～18：00
- 場 所：愛媛大学職員会館 大会議室
- 内 容：
 - ①地方公務員の業務と役割 松山市 崎山久美子
 - ②コンサルタント業界の現状 (株)シアテック 中島千尋
 - ③四国の高速道路の現状と今後の展開 西日本高速道路(株) 西山曜平
 - ④建設業界の動向と今後の課題 愛媛大学 木下尚樹
- 参加者：78名

Ⅲ．後援行事

1) 愛媛大学防災情報研究センター平成25年度活動報告会（済）

- 主 催：愛媛大学防災情報研究センター
- 後 援：国土交通省四国地方整備局，一般社団法人四国クリエイト協会
地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会
- 日 時：平成26年5月28日（水） 13：30～（受付13：00～）
- 場 所：愛媛大学南加記念ホール
- 内 容：
 - ・平成25年度防災情報研究センター活動報告
愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 竹田正彦
 - ・アーバンデザインセンターの設立について
愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 新階寛恭
（アーバンデザイン研究部門）
 - ・南海トラフ巨大地震に対する四国地震防災基本戦略の取り組み
四国地方整備局 総括防災調整官 林 重延 氏
 - ・伊予灘地震（3月14日発生）への初動対応調査について
愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 竹田正彦
- 参加者：85名

2) 国際防災講演会「ネパールの斜面防災の現状と防災組織の役割」

- 主 催：愛媛大学社会連携機構防災情報研究センター
- 後 援：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会
- 日 時：平成27年2月16日（月）， 15：00～17：00
- 会 場：愛媛大学社会連携推進機構 2階 研修室
- プログラム
 - 15：00 開会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部龍一
 - 15：05 講演1 「Hazard Management Perspective of Roadside Landslides in Nepal
－Lessons from the 2014 Jure Landslide Disaster－」
ネパール国立トリブバン大学准教授・愛媛大学防災情報研究センター客員准教授
Dr. Ranjan Kumar Dahal

16:00 講演2 「Role of NPOs in Advocating Disaster Management Policies in Nepal -Case of Himalaya Conservation Group-」

ネパール国制憲議会議員・Himalaya Conservation Group 会長・
愛媛大学防災情報研究センター客員研究員 Gangalal Tuladhar

16:50 閉会挨拶

愛媛大学防災情報研究センターアジア・地域防災情報ネットワーク部門長 榊原正幸

○参加者：31 名

第2号議案 平成26年度 支部収支決算報告(案)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	528,300	239,000	0	0	767,300	0	767,300
調査研究・基準事業収益（公2）	0	528,300	0	0	0	528,300	0	528,300
学術講演会収益		0	0	0	0	0	0	0
見学会収益	0	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000
技術研究発表会収益	0	203,300	0	0	0	203,300	0	203,300
研究会助成収益		272,000	0	0	0	272,000	0	272,000
研究事業収益		33,000	0	0	0	33,000	0	33,000
技術指導収益		0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	0	0	239,000	0	0	239,000	0	239,000
講習会収益	0	0	208,000	0	0	208,000	0	208,000
海外調査および国際セミナー・報告会収益			31,000	0	0	31,000	0	31,000
② 雑収益	0	0	0	0	62,214	62,214	62,214	124,428
受取利息	0	0	0	0	564	564	564	1,128
雑収益	0	0	0	0	61,650	61,650	61,650	123,300
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	581,000	581,000	1,079,000	1,660,000
本部交付金	0	0	0	0	581,000	581,000	1,079,000	1,660,000
経常収益計	0	528,300	239,000	0	643,214	1,410,514	1,141,214	2,551,728
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,284,457	430,178	6,336	0	1,720,971	0	1,720,971
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,284,457	0	0	0	1,284,457	0	1,284,457
学術講演会費	0	0	0	0	0	0	0	0
見学会費	0	65,232	0	0	0	65,232	0	65,232
技術研究発表会費	0	264,014	0	0	0	264,014	0	264,014
研究会助成金支出	0	896,939	0	0	0	896,939	0	896,939
研究事業支出	0	58,272	0	0	0	58,272	0	58,272
技術指導支出		0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業費（公3）	0	0	430,178	0	0	430,178	0	430,178
講習会費	0	0	213,732	0	0	213,732	0	213,732
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	216,446	0	0	216,446	0	216,446
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	6,336	0	6,336	0	6,336
表彰事業	0	0	0	6,336	0	6,336	0	6,336
② 管理費	0	0	0	0	0	0	963,652	963,652
借入費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	46,309	46,309
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	103,600	103,600
通信費	0	0	0	0	0	0	75,039	75,039
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	45,360	45,360
HP管理費	0	0	0	0	0	0	64,800	64,800
雑費	0	0	0	0	0	0	228,544	228,544
経常費用計	0	1,284,457	430,178	6,336	0	1,720,971	963,652	2,684,623
当期経常増減額	0	△ 756,157	△ 191,178	△ 6,336	643,214	△ 310,457	177,562	△ 132,895
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 756,157	△ 191,178	△ 6,336	643,214	△ 310,457	177,562	△ 132,895
一般正味財産期首残高			6,949,997					
一般正味財産期末残高			6,817,102					
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額			0					
指定正味財産期首残高			0					
指定正味財産期末残高			0					
III 正味財産期末残高		6,817,102						

四国支部 正味財産増減計算書
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
四国支部（平成26年度）

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	767,300	962,450	△ 195,150
調査研究・基準事業収益（公2）	528,300	707,450	△ 179,150
学術講演会収益	0	55,000	△ 55,000
見学会収益	20,000	45,000	△ 25,000
技術研究発表会収益	203,300	282,840	△ 79,540
研究会助成収益	272,000	225,062	46,938
技術指導収益	0	49,548	△ 49,548
自然災害の調査・研究事業収益	33,000	50,000	△ 17,000
技術推進事業収益（公3）	239,000	255,000	△ 16,000
講習会収益	208,000	255,000	△ 47,000
海外調査および国際セミナー・報告会	31,000	0	31,000
② 雑収益	124,428	171,416	△ 46,988
受取利息	1,128	1,076	52
雑収益	123,300	170,340	△ 47,040
③ 他会計からの繰入額	1,660,000	1,720,000	△ 60,000
本部交付金	1,660,000	1,720,000	△ 60,000
経常収益計	2,551,728	2,853,866	△ 302,138
(2) 経常費用			
① 事業費	1,720,971	1,861,774	△ 140,803
調査研究・基準事業費（公2）	1,284,457	1,562,803	△ 278,346
学術講演会費	0	55,247	△ 55,247
見学会費	65,232	65,592	△ 360
技術研究発表会費	264,014	289,614	△ 25,600
技術指導費	0	49,548	△ 49,548
受託事務手数料	0	0	0
研究会助成金支出	896,939	1,025,062	△ 128,123
自然災害の調査・研究事業支出	58,272	77,740	△ 19,468
技術推進事業費（公3）	430,178	286,951	143,227
講習会費	213,732	219,464	△ 5,732
海外調査および国際セミナー・報告会	216,446	67,487	148,959
表彰関連事業（公4）	6,336	12,020	△ 5,684
表彰事業	6,336	12,020	△ 5,684
② 管理費	963,652	1,041,708	△ 78,056
備人費	400,000	400,000	0
会議費	46,309	53,656	△ 7,347
旅費・交通費	103,600	190,100	△ 86,500
通信費	75,039	58,450	16,589
印刷費製本費	45,360	51,450	△ 6,090
HP管理費	64,800	63,000	1,800
雑費	228,544	225,052	3,492
経常費用計	2,684,623	2,903,482	△ 218,859
当期経常増減額	△ 132,895	△ 49,616	△ 83,279
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 132,895	△ 49,616	△ 83,279
一般正味財産期首残高	6,949,997	6,999,613	△ 49,616
一般正味財産期末残高	6,817,102	6,949,997	△ 132,895
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,817,102	6,949,997	△ 132,895

平成27年4月2日

監 査 報 告 書

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

支部長 渦岡 良介 殿

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

監 事 紙田直亮 

監 事 岩原廣彦 

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関しての報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成26年度一般会計の正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 平成27年度 支部役員(案)

平成27年度 地盤工学会四国支部役員

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支 部 長	上羽坪 勲	西日本高速道路(株) 四国支社 副支社長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-823-2111 FAX 087-826-3057
副支部長	岡 村 未 対	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
"	石 井 一 生	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	風 間 優	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設(株) 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
顧 問	三 浦 真 紀	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	片 山 光 也	(独)水資源機構吉野川局長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	別 枝 修	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2205
"	噂 耕 司	四国地質調査業協会 理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 青葉工業(株) 代表取締役 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-8222 FAX 087-837-1807
"	矢 田 部 龍 一	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
"	長谷川 修 一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	末 澤 等	四国電力(株) 常務取締役 〒760-0033 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-826-1804
評議員	笹 原 克 夫	高知大学 教育研究部自然科学系 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	岡 林 宏二郎	高知工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
"	渦 岡 良 介	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7345 FAX 088-656-7345
"	小 林 範 之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 教授 〒790-0905 松山市樽味3-5-7	TEL 089-946-9929 FAX 089-946-9929
"	小 竹 望	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3927 FAX 087-869-3929
"	吉 村 洋	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授 〒774-0017 阿南市見能林町青木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	東 島 義 郎	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	小 林 稔	徳島県 県土整備部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	小 野 裕 幸	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	頼 木 清 隆	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	奥 谷 正	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9811 FAX 088-823-9263
"	細 木 康 夫	西日本高速道路(株) 四国支社 建設事業部 技術審査役 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1900 FAX 087-826-3057
"	尾 崎 重 浩	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループリーダー	TEL 087-821-5061

		〒760-8573 高松市丸の内2-5	FAX 087-825-3177
"	須賀 幸一	(株)芙蓉コンサルタント 技術本部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
"	斎藤 章彦	(株)四国総合研究所 土木技術部上席研究員 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 087-843-8111 FAX 087-887-0004
"	増田 浩正	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 (株)増田地質工業 代表取締役会長 〒760-0005 高松市宮脇町1丁目18番23号	TEL 087-821-4367 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-5255 FAX 087-862-5201
"	神野 邦彦	四国地質調査業協会 副理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 (株)愛媛建設コンサルタント 代表取締役 〒790-0036 松山市小栗7-11-8	TEL 087-821-4367 FAX 087-862-5120 TEL 089-847-1011 FAX 089-941-8606
"	辻 和秀	建設コンサルタンツ協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)エイト日本技術開発四国支社 執行役員 四国支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
"	武田 信一	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株)四国支店 執行役員支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
"	川崎 邦彦	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 西松建設(株) 四国支店 支店長 〒760-8503 高松市番町3-8-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-1471 FAX 087-837-7505
"	梅津 誠二	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-8533 高松市寿町2-4-5	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-4300 FAX 087-822-6614
"	吉見 和行	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部・運営委員 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)奥村組 四国支店 支店長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	佐藤 健人	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
"	西岡 義則	四国建設業協会連合会 会長 〒790-0002 松山市二番町4丁目4-4	TEL 089-943-5324 FAX 089-933-0168
支部監事	岩原 廣彦	香川大学危機管理研究センター副センター長 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2546 FAX 087-864-2549
"	天羽 誠二	四国建設コンサルタント(株) 専務取締役 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3322 FAX 088-683-3323
幹事長	内田 純二	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術計画課付調査役 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-823-2140 FAX 087-826-3057
事務局長	大蔵 崇	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術計画課長代理 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-823-2140 FAX 087-826-3057
事務局員	中島 淳子	愛媛大学 工学部環境建設工学科 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 090-6881-9030 FAX 089-927-9817
幹事	野々村 敦子	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2146 FAX 087-864-2188
"	安原 英明	愛媛大学 大学院理工学研究科 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9817
"	ネトラ P. バンダリ	愛媛大学 大学院理工学研究科 助教 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9817
"	原 忠	高知大学教育研究部自然科学系農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5162 FAX 088-864-5162

〃	向 谷 光 彦	香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3921 FAX 087-869-3929
〃	石 井 譲 治	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
〃	平 野 智	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
〃	遠 藤 守 彦	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術課長補佐 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
〃	多 田 康 宏	香川県 土木部技術企画課課長補佐 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
〃	木 村 圭 策	愛媛県 土木部管理局土木管理課技術企画室 技術室長補佐 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
〃	岩 崎 哲 史	高知県 土木部防災砂防課課長補佐 〒780-8570 高知市丸ノ内2-1-20	TEL 088-823-9825 FAX 088-823-9263
〃	駒 田 達 広	(独)水資源機構吉野川局 施設管理課長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
〃	井 桜 政 泰	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 050-8801-4615 FAX 087-821-3177
〃	田 村 栄 治	(株)四電技術コンサルタント 地質部副部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
〃	香 川 年 市	青葉工業(株) 取締役営業所長 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-8223 FAX 087-837-2807
〃	尾 崎 美 伸	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 営業統括部長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
〃	神 田 幸 正	株式会社ビュー設計 地質設計課課長 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
〃	中 根 久 幸	(株)地研 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326
〃	植 田 昌 宏	(株)チェリーコンサルタント 技術監 〒760-0073 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962
(徳島県) 地域幹事	笠 井 博 之	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長 〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	TEL 088-654-9611 FAX 088-654-9643
〃	田 村 節 雄	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官 〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-14	TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010
〃	増 田 俊 二	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長 〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	TEL 088-626-2021 FAX 088-626-5691
〃	小 林 昌 弘	(株)基礎建設コンサルタント 技術部技術課長 〒779-3120 徳島市国府町南岩延883-92-5330	TEL 088-642-5330 FAX 088-642-4216
〃	大 薮 剛 士	応用地質(株) 四国支社徳島支店 主担 〒770-0021 徳島市佐古一番町10番2号G2ビル3階	TEL 088-653-0125 FAX 088-653-0124
〃	藤 川 誠 次	四国建設コンサルタント(株) 技術三部設計1課主査 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3393 FAX 088-683-3563
〃	安 芸 浩 資	ニタコンサルタント(株) 771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0015
(高知県) 地域幹事	壬 生 恵 庫	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長 〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	TEL 088-832-0779 FAX 088-833-5357
〃	火 口 誠	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒781-0113 高知市種崎874	TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001
〃	清 水 博	高知市 都市建設部長 〒780-8571 高知市本町5-6-13	TEL 088-823-9216 FAX 088-823-9038
〃	林 満 年	応用地質(株) 高知支店 支店長 〒780-0901 高知市上町2-5-1 (臼井エステートビル3F)	TEL 088-855-3050 FAX 088-875-5066
〃	奥 村 昌 史	(株)第一コンサルタンツ 設計一部地盤防災課主任 〒781-8122 高知市高須新町3-1-5	TEL 088-884-1330 FAX 088-884-3783

(愛媛県) 地域幹事	〃	岡 崎 健一郎	(株)轟組 土木部防災担当部長 〒780-8006 高知市萩町1丁目5番13号	TEL 088-834-1016 FAX 088-834-1028
	〃	尾 川 七 瀬	(株)技研製作所 新工法開発部 実証科学課 主任 〒781-5195 高知市布師田3948-1	TEL 088-803-1256 FAX 088-803-1266
		川 口 悦 史	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長 〒791-8058 松山市海岸通2426-1	TEL 089-951-0162 FAX 089-946-8010
	〃	篠 原 潤	カナン地質(株) 社長 〒791-1106 松山市今在家2-1-4	TEL 089-993-6711 FAX 089-993-6733
	〃	松 田 久 和	(株)シアテック 土木部調査設計二課 副課長 〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	TEL 0897-37-2796 FAX 0897-32-5979
	(香川県) 地域幹事	橘 高 豊 明	(株)奥村組四国支店 土木部長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
	〃	田 村 彰 三	田村ボーリング(株) 専務取締役 〒760-0007 高松市中央町6-19-21	TEL 087-833-7878 FAX 087-834-4795
	〃	木 下 博 久	復建調査設計(株)四国支社 地盤技術課長 〒760-0020 高松市錦町1-4-40	TEL 087-826-1913 FAX 087-826-1917
	〃	増 田 剛 人	㈱増田地質工業 代表取締役社長 〒760-0005 高松市宮脇町1丁目18番23号	TEL 087-862-5255 FAX 087-862-5201
	〃	千 綿 康 平	大日本コンサルタント(株)四国支店 地域交通計画室係長 〒760-0026 香川県高松市磨屋町3-1 マニユライフプレイス高松2F	TEL 087-811-0899 FAX 087-851-9311

第4号議案 平成27年度 支部事業計画(報告)

平成 27 年度 支部事業計画

1. 総会，役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 27 年 4 月 17 日（金）16:00～17:00 高松テルサ（高松市）

- ① 平成 26 年度 特別表彰、地盤工学貢献賞
- ② 平成 26 年度 支部事業報告
- ③ 平成 26 年度 支部収支決算報告，監査報告
- ④ 平成 27 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 27 年度 支部事業計画（案）
- ⑥ 平成 27 年度 支部収支予算（案）

(2) 評議員会

第 1 回 平成 27 年 4 月 17 日（金）14:30～15:40 高松テルサ（高松市）

- ① 平成 27 年度 支部役員（案）
- ② 平成 26 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 26 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 26 年度 特別表彰、地盤工学貢献賞
- ⑤ 平成 27 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 27 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 27 年 2 月（予定）

- ① 平成 27 年度 支部事業報告
- ② 平成 27 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 28 年度 支部役員案
- ④ 平成 28 年度 支部事業計画案
- ⑤ 平成 28 年度 支部予算案
- ⑥ その他

(3) 幹事会

3 回程度開催（第 1 回 平成 27 年 6 月予定）

2. 支部主催事業

(1) 講習会「落石対策工の設計法と計算例の講習会」 担当：NEXCO

- 日 時：平成 27 年 6 月 12 日（金）10:30 分～17:00
- 場 所：サンポートホール高松 61 番会議室

(2) 学術講演会 担当：高知大学

- 日 時：9 月
- 場 所：高知市

(3) 技術研究発表会 担当：香川大学

- 日 時：平成 27 年 10 月 29 日（木）～30 日（金）12:00
- 会 場：香川県国民休暇村五色台

(4) 見学会 担当：香川大学

- 日 時：平成 27 年 10 月 30 日 13:00～
- 場 所：香川県（樺川ダム）

(5) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会

- 1) 繰返し三軸試験に関する講習会（高知大学）
- 2) 動的遠心模型実験に関する講習会（愛媛大学）
- 3) 研究委員会 2 回程度（高松，徳島）
上記 1)，2) の再現シミュレーションなどを中心に活動予定。

3. 各県地盤工学会研究会

(1) 徳島県地盤工学会研究会

1) 平成 27 年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム

- 日 時：平成 27 年 7 月 31 日（金）
- 場 所：徳島大学 工業会館 メモリアルホール
- 内 容：特別講演と一般技術論文
- 特別講演の内容：

特別講演 1「本県における社会資本整備の現状と課題（仮題）」

徳島県 県土整備部 建設管理課長

特別講演 2「未定」

京都大学名教授 岡 二三生（一般社団法人 LIQCA 液状化地盤研究所 会長）

2) 第 1 回 特別講演会

- 日 時：未定

3) 第 2 回 特別講演会

- 日 時：未定

4) 現場見学会

- 日 時：未定
- 場 所：未定

5) 第1回 徳島地区幹事会

○日時：5月初旬（シンポジウムの準備ほか）

(2) 香川県地盤工学会

1) 第1回学術講演会

○日時：平成27年6月予定

2) 第2回学術講演会

○日時：平成27年11月予定

3) 技術セミナー

○日時：随時開催

4) 学術交流会

○3月上旬および下旬に計2回開催（香川高専）

(3) 高知県地盤工学会

1) 第3回高知県地盤工学会「若手の会」（勉強会）

○日時：平成27年6月

○場所：未定

○内容：土質試験について（前年度講演会延期）

2) 第37回（平成26年度）高知県地盤工学会 講演会

○日時：平成27年8月

○会場：未定

○内容：未定

3) 第4回高知県地盤工学会「若手の会」（プレ発表会）

○内容：四国支部研究発表会に向けてのプレ発表会

○日時：平成27年10月

○会場：未定

○内容：四国支部研究発表会に向けてのプレ発表会

4) 第38回（平成26年度）高知県地盤工学会 現地見学会

○日時：平成27年12月

○場所：未定

○内容：未定

(4) 愛媛県地盤工学会

1) 愛媛県地盤工学会第一回学術講演会

○日時：未定

2) 落石に関する講習会

○日時：未定

第5号議案 平成27年度 支部収支予算(報告)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	340,000	210,000	0	0	550,000	0	550,000
調査研究・基準事業収益（公2）	0	340,000	0	0	0	340,000	0	340,000
学術講演会費収益	0	60,000	0	0	0	60,000	0	60,000
見学会収益	0	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000
技術研究発表会収益	0	260,000	0	0	0	260,000	0	260,000
研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
講習会収益	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
② 雑収益	0	0	0	0	92,500	92,500	92,500	185,000
受取利息	0	0	0	0	300	300	300	600
雑収益	0	0	0	0	92,200	92,200	92,200	184,400
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	595,000	595,000	1,105,000	1,700,000
経常収益計	0	340,000	210,000	0	687,500	1,237,500	1,197,500	2,435,000
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,270,000	906,067	15,000	0	2,191,067	0	2,191,067
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,270,000	0	0	0	1,270,000	0	1,270,000
学術講演会費	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
見学会費	0	70,000	0	0	0	70,000	0	70,000
技術研究発表会費	0	250,000	0	0	0	250,000	0	250,000
研究会助成金支出	0	800,000	0	0	0	800,000	0	800,000
研究事業支出	0	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
技術推進事業費（公3）	0	0	906,067	0	0	906,067	0	906,067
講習会費	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
国内・海外調査およびセミナー・報告会	0	0	656,067	0	0	656,067	0	656,067
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
表彰事業	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	900,000	900,000
備人費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000
通信費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
HP管理費	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
雑費	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
経常費用計	0	1,270,000	906,067	15,000	0	2,191,067	900,000	3,091,067
当期経常増減額	0	△ 930,000	△ 696,067	△ 15,000	687,500	△ 953,567	297,500	△ 656,067
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 930,000	△ 696,067	△ 15,000	687,500	△ 953,567	297,500	△ 656,067
一般正味財産期首残高								6,817,102
一般正味財産期末残高								6,161,035
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,161,035

【参考資料】

① 平成 27 年度以降の事業予定

② 四国支部規定等

- ・ 地盤工学会四国支部規程 (平成 22 年 4 月 21 日制定)
- ・ 地盤工学会四国支部特別表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 25 年 11 月 23 日改定)
- ・ 旅費、謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・ 会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日本部提出)
- ・ 各県地盤工学会研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

H27年度以降の事業予定

・事務局等の分担履歴

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	四国建設広報 協議会	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H. 1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	愛媛大学	
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	全国大会(愛媛大学)
H23	四国電力	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(愛媛大学)
H24	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H25	香川大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	香川大学	
H26	徳島大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	徳島大学	
★ H27	NEXCO	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	NEXCO	
H28	愛媛大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H29	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	徳島大学	四国地整	
H30	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	四国電力	全国大会(香川大学)
H31	高知大学	香川大学?	NEXCO?	香川大学?	高知高専?	高知大学?	60周年記念事業

公益社団法人地盤工学会四国支部規程

(平成 22 年 4 月 21 日制定)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき四国地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という。）といい、事務局を四国地区に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す四国地区（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、支部発展のため各県に地盤工学会研究会を設置する。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	3 名
評 議 員	若干名
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
幹 事	若干名

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員の選任)

第 7 条 支部役員は、評議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならない、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を評議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員の任期)

第 8 条 支部役員の任期は 1 年とし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 評議員は、支部に関する重要事項を評議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員の業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 顧問は、支部役員の諮問に応ずる。

(支部役員の解任)

第 10 条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の報酬)

第 11 条 支部役員は、無報酬とする。

第3章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

第12条 支部は、定款第7条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。

2 支部代議員候補者は、評議員会にて選考する。

第4章 会 議

(会議)

第13条 支部の会議は、支部総会、評議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、規則第47条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。

2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。

3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。

4 支部総会は、次の事項について決議する。ただし、支部総会の議事は、予め評議員会の承認を必要とする。

- (1) 支部役員の選任または解任
- (2) 事業報告及び決算報告の承認
- (3) 支部規程その他の規程の変更
- (4) その他、評議員会で認めた事項

5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。

6 委任状は、当該議事につき、書面をもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(評議員会)

第15条 評議員会は、評議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。

2 評議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。

3 評議員会は、次の事項を審議する。

- (1) 事業報告及び決算
- (2) 事業計画及び予算
- (3) 規程等の制定及び変更
- (4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
- (5) その他、会務運営上の事項

4 評議員会は、評議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。

5 委任状は、当該議事につき、書面をもって、評議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

6 評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(幹事会)

第16条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

2 幹事会は、年3回程度開催し、幹事長が招集する。

3 幹事会は、評議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

(支部委員会)

第17条 支部長は、調査・研究のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

第5章 会 計

(支部の事業年度)

第18条 定款第43条に基づき、支部の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終る。

(支部の経費)

第19条 規則第51条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

第20条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始1ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。

2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

第21条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、評議員会

- の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。
- 2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の議決を経て総会の承認を得なければならない。

第6章 支部表彰

- 第22条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

第7章 支部規程の改廃

- 第23条 この規程を改廃しようとするときは、評議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。
- 2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規程は、平成22年11月1日から施行する。

地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第22条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

(対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

(功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

(技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

(技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

(賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

(選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会(以下「委員会」という)において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員(以下「実行委員会」という)で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。

3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

(表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事(以下「記念行事」という)の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

(附則)

この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第22条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学会研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(附則)

第12条 この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成 11 年 4 月 21 日制定

平成 20 年 1 月 8 日改定

平成 23 年 4 月 26 日改定

平成 25 年 11 月 23 日改定

(目的)

第 1 条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第 22 条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(受賞対象者)

第 2 条 受賞対象者は以下のとおりとする。

- (1)地盤工学会の個人会員であること。
- (2)大学および高等専門学校等の教員でないこと。
- (3)過去 5 年以内に受賞していないこと。
- (4)当該年度の 4 月 1 日時点で 40 歳未満であること。
- (5)発表者数の概ね 10%程度の人数を表彰する。

(審査方法)

第 3 条 賞を選考するために、論文審査委員会（以下「委員会」という）を設置する。2. 委員会は、委員長および委員 4 名の計 5 名で構成する。委員長は幹事長とし、委員は幹事長が選任する。採点委員は、委員会が選任する。

3. 口頭発表は 3 名以上の採点委員で採点を行う。
4. 採点項目は、(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3)発表時間、(4)質疑応答の 4 項目とする。
5. 採点委員は、採点結果を委員会に提出する。委員会は、提出された採点結果を基に受賞者を選出する。
6. 委員長は、支部幹事会に受賞者を報告する。

(表彰方法)

第 4 条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成 25 年 11 月 23 日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）
 （ ）はH10年度

項目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,500 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	2,000 円
	（講演時間 1 時間あたり ）	（14,000 円）
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
	（講演時間1時間あたり ）	（30,000 円）
原稿料	会誌1ページ相当 （ワープロ仕上げ）	2,500 円
	講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	（ 2,400 円） 920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
		（ 同 上 ）
	1時間当たり	900 円
		（ 同 上 ）

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15.12.19改正に準じる)

・原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。

ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。

・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。

・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。

・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）

高松での幹事会等への出席

・高松市内から 2,000円（市内交通費）

・高松市外から 3,000円

②日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

（平成18年2月22日評議員会承認）

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない
施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場
所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは
施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学会助成内規

1. 助成方法

各県地盤工学会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に
計上する。

2. 使途

助成金は、各県地盤工学会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にするこ
とができる。

3. 報告

各地盤工学会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)